

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アルフレッサファーマ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 540-8575 大阪府大阪市中央区石町二丁目2番9号	
本票作成	部署名：岡山製薬工場 製剤部 工務課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原料等の製造・輸入・販売。従業員：673人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山製薬工場		岡山県勝田郡勝央町太平台18番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 22 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 25 年度)
	5,364 t CO <sub>2</sub>	7,994 t CO <sub>2</sub>	5,364 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	岡山製薬工場	7,994 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 23 年度 ～ 平成 25 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 40.2 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		7.957 t CO <sub>2</sub> /( t )	11.156 t CO <sub>2</sub> /( t )	7.718 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

昨年度は包装棟の建設工事と包装棟立上げに関する稼働確認(各設備能力、温湿度、差圧等)によりエネルギー使用量が増加した。また、生産量の減少に加え包装棟への設備移設や、製品の別ラインへの載せ替え及び新規(受託)製品製造に対する検証などにより、生産活動以外によるエネルギーの使用が多く原単位あたり40%も増加した。今年度も引き続き新規製品の検討や包装棟の季節毎の稼働確認による非製造でのエネルギー使用が発生するが、残業及び休日出勤の統一による設備運転時間の管理など効率化を図りエネルギー削減に努める。

**【推進体制】**

- ・工場において省エネ推進に関する会議を開催し効率的な設備稼働の運用を図る。
- ・推進委員によるパトロールの実施による省エネ推進。
- ・各エネルギー使用量グラフを掲示し社員への省エネに対する意識付を行う。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山製薬工場	<p>(平成25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貫流式ボイラーのブロー量の見直しと還水配管の保温：35tCO2/年削減</li> <li>・製造エリア空調機の露点温度を下げ空気再加熱量を低減：29tCO2/年削減</li> <li>・製造エリア空調機の温度見直し(夏期：+1℃。冬期：-1℃)：87tCO2/年削減</li> <li>・準夜勤での空調機の運転台数見直し：26tCO2/年削減</li> <li>・空調機運転時間のプログラム管理：43tCO2/年削減</li> <li>・包装棟吸収器冷凍機の冬期停止：101tCO2/年削減</li> <li>・包装棟各事務室の蛍光灯をLED化</li> <li>・早期退社の推進とパソコンの省エネ設定の徹底</li> <li>・ボイラー空気比の季節毎の調整</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備の稼働日調整による電力の平準化</li> <li>・高圧トランス3台のトップランナーへの更新</li> <li>・貫流式ボイラー軟水タンクを屋外設置から屋内移設による給水温度昇温</li> <li>・貫流式ボイラー本体の保温(カバーリング)</li> <li>・製造エリア空調機の室内温度と露点温度の見直し</li> <li>・圧縮空気の漏れ調査及び修繕と、設備の連続ブローを間欠ブローまたはブローに変更</li> <li>・渡り廊下の照明を常時点灯から人感センサー点灯に変更</li> <li>・残業及び休日出勤の統一</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--